

④新規用途開発による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

吉野杉の大径木を活用した家具・インテリア商品、インテリア材の開発及び販売

(株)飛行船スタイルは、これまで建築材として使用されてきた吉野杉の新しい用途として、杉材の持つ機能性や特徴を生かし快適な空間を提供する家具やインテリア材等を開発し、吉野杉材の新しい用途提案と需要開拓に取り組む。

➤ 連携体

農林漁業者 (株)吉野森久銘木店(法人番号2150001016177)、坂本良平(以上、林業者)

(株)吉野森久銘木店及び坂本良平は吉野林業地の所有林で育林している大径木を本事業の原材料として安定供給する。

中小企業者 (株)飛行船スタイル(法人番号6120001119961)(家具小売業)

林業者から供給された大径木をテーブル・椅子・インテリア商品、壁面や壁面収納等のインテリア材として開発・販売する。

連携参加者 イヌイ木工、(株)山崎木工所(以上、製材・木製家具製造業)

(株)飛行船スタイルがデザインしたテーブル・インテリア商品、インテリア材等新商品の部材加工・組み立てを行う。

サポート機関等 (独)中小企業基盤整備機構近畿本部

➤ 連携の経緯

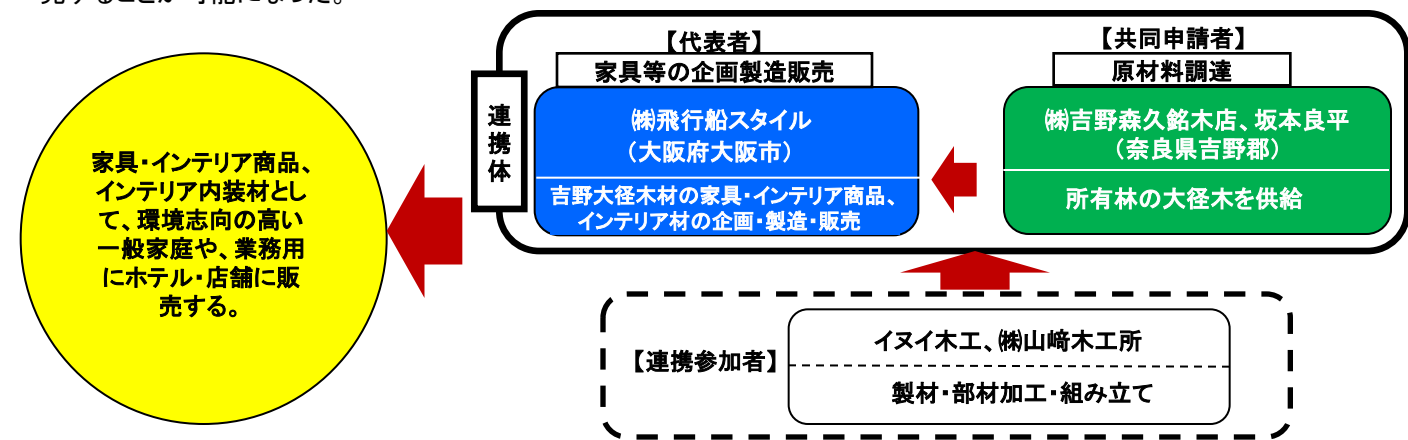
吉野林業地域内の林業者の(株)吉野森久銘木店及び坂本良平は広大な林業地を抱えているものの、素材価格の低迷が続き、林業経営の先行きに不安を抱いていた。今回、(株)飛行船スタイルが計画する吉野杉の新たな用途開発に協力することで、吉野材の付加価値の向上が可能となることから本事業の実施に向けて連携することとなった。

【吉野杉大径木材のテーブル】



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

杉は、柱、梁等日本建築の主要木材として使用されてきたが、近年の住宅様式の変化などにより年々建築材等の需要が減少している。吉野杉も同様に、これまで銘木として知られてきたが年々需要が減少し、現在では高齢人工林の面積が増加しており、新たな需要開拓が求められている。(株)飛行船スタイルは吉野杉が他府県の杉材より木質がよく利用価値が高いことに着目し、塗装方法や組み立て方法に工夫を加えることで杉材の持つ傷つきやすく、加工しにくい欠点を克服し、建築材以外の用途となる家具・インテリア商品、インテリア材を開発・販売することが可能になった。



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年で(株)吉野森久銘木店、坂本良平は6,000千円の売上高増加

本事業を行うことで杉材の新規用途開発が可能となり、吉野の大径木材の付加価値向上、ブランド化を進めることが可能となる。

中小企業者 (株)飛行船スタイルは5年で35,500千円の売上高増加、収益性の改善

本商品で新たなユーザー獲得に向けた事業展開を図ることにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名	: 株式会社飛行船スタイル	所在地	: 大阪府大阪市西区京町堀1-12-8
T E L	: 06-6441-3483	F A X	: 06-6441-3484
E - m a i l	: t-senda@hikosen-style.co.jp	ホームページ	: http://www.hikosen-style.co.jp/